

●施策名

【施策5】 障がいのある子どもたちが「地域で共に学び、共に生きる教育」を推進します
 (関連指標：指標32～指標35 (P55))

- i 地域における支援体制の整備・充実と理解啓発の促進
- ii 小・中学校における特別支援教育の充実
- iii 高等学校における特別支援教育の充実
- iv 特別支援学校における特別支援教育とセンター的機能の充実
- v 教員の特別支援教育に関する指導力の向上
- vi 特別支援学校の在り方の検討【再掲】

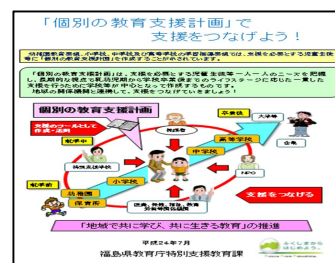
●代表的な取組の進捗状況

- i 地域における支援体制の整備・充実と理解啓発の促進
 - ・ 特別な支援を必要とする子どもたちへの支援体制の整備・充実のために、関係機関連携によるネットワークの構築を支援しています。
 また、乳幼児期からの一貫した相談体制の整備等の取組を支援しています。(地域支援体制整備充実事業)
 - ・ 県民を対象として発達障がいの理解と支援に関する講演等を行い、障がいの有無にかかわらず、「地域で共に学び、共に生きる教育」についての理解啓発を行っています。
 - ・ 「個別の教育支援計画」の作成・活用等による校内における支援体制の整備・充実、特別支援学級や通級指導教室における指導支援の充実等に努めています。



関係機関が連携した支援のためのツール

- ii 小・中学校における特別支援教育の充実
 - ・ 重度視覚障がいのある児童生徒が、地域の小・中学校で学ぶことができるよう、視覚障がい支援講師を配置したり、視覚障がいに応じた教材教具を必要な学校に貸与したりしています。
 - ・ 発達障がいのある児童生徒が障がいの状態に応じた個別指導や少人数指導を受けることができるよう、ADHD通級指導教室に講師を配置し、指導の充実に努めています。



個々の教育的ニーズに応じた一貫した教育

- iii 高等学校における特別支援教育の充実
 - ・ 高等学校における発達障がい等のある生徒への支援のため、在籍数の多い高等学校に学習支援員を配置し、生徒の特性に応じた学習支援を行っています。
 - ・ 身体に障がいのある生徒が在籍する高等学校に介助員を配置することにより、その教育活動を支援しています。
- iv 特別支援学校における特別支援教育とセンター的機能の充実
 - ・ 特別支援学校高等部生徒の就職率と職場定着率を向上させるため、関係機関と連携し、企業への理解啓発と企業で働き続けることができる人材育成の充実に努めています。
 - ・ 特別支援学校は、各教育事務所や養護教育センターと連携のもと、そのセンター的機能を発揮して、地域の幼稚園、小・中学校、高等学校における特別支援教育の充実に向けた支援を行っています。(地域教育相談推進事業)

- v 教員の特別支援教育に関する指導力の向上
- ・ 特別支援学校、特別支援学級及び通級指導教室、特別支援教育コーディネーター等の教員を対象に、養護教育センターでより専門的な研修を実施しています。
 - ・ 特別支援学校において、教員が外部専門家からの継続的な指導・助言を受ける研修会等を実施し、その専門性の向上に取り組んでいます。

福島県養護教育センター
基本研修
職能研修
専門研修
自主研修講座

- vi 特別支援学校の在り方の検討【再掲】
- ・ 特別支援学校の教育環境の整備と複数の障がい種に対応する専門的な教育の推進を図るため、在籍児童生徒数の増加や長時間通学への対応など本県の課題を踏まえ、「福島県県立特別支援学校全体整備計画」を策定しました。これに基づいて、緊急性のある課題から優先的に解決を図るべく計画を積極的に推進していきます。



福島県立特別支援学校全体整備計画

●問題点・改善等が必要な項目

- ① 地域における支援体制の整備・充実
 - ・ 市町村における早期からの支援体制の整備・充実。
 - ・ 「地域で共に学び、共に生きる教育」の推進と理解啓発。
 - ・ 各学校における校内支援体制と「個別の教育支援計画」に基づく支援の充実。
- ② 県立特別支援学校におけるセンター的機能充実
 - ・ 通常の学級、通級指導教室、特別支援学級等、多様な学びの場の整備、充実。
- ③ 特別支援教育に関する教員の指導力の向上
 - ・ 各学校における特別支援教育に関する教員の指導力向上。
- ④ 県立特別支援学校の在り方の検討
 - ・ 特別支援学校の教育環境の整備・充実。

●取組の方向性

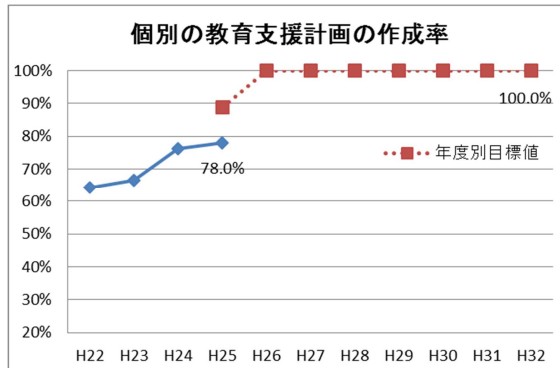
- ① 地域における支援体制の整備・充実
 - ・ 地域におけるインクルーシブ教育システムの構築と理解啓発の促進を図ります。
 - ・ 特別支援コーディネーターを中心とした校内支援体制の充実と、「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」を作成・活用した支援を充実させます。
- ② 県立特別支援学校におけるセンター的機能充実
 - ・ 特別支援学級・通級指導教室における支援を充実させるなど、多様な学びの場の整備・充実を図ります。
- ③ 特別支援教育に関する教員の指導力の向上
 - ・ すべての教員の特別支援教育に関する指導力向上に向けた研修を充実させます。
- ④ 県立特別支援学校の在り方の検討
 - ・ 「福島県立特別支援学校全体計画」に基づく教育環境づくりと学校づくりを推進します。

● 主な指標の状況

・ 指標 1

「個別の教育支援計画の作成率（公立幼・小・中・高等学校）」

現況値	年度別目標値	評価
78.0%	88.8%	おおむね順調



① 評価の理由

達成率は目標値には達していないものの、震災以降順調に増加しており、従前からの改善も見られるため。

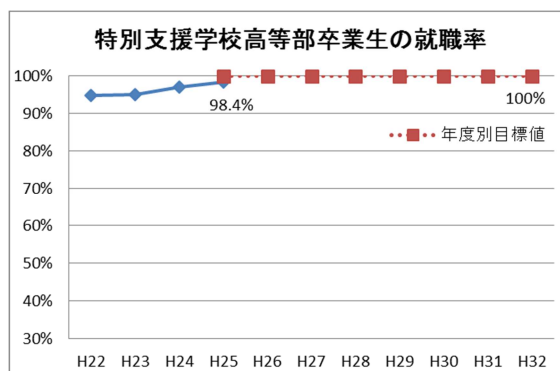
② 今後の取組

個別の教育支援計画を就学指導協議会や特別支援教育コーディネーター研修会等の場において、個別の教育支援計画の作成や活用について働きかけていくとともに、就学後の継続的な教育相談、学校間の引継ぎ等で生かすよう市町村教育委員会に働きかけていく。

・ 指標 2

特別支援学校高等部卒業生のうち、就職を希望する生徒の就職率

現況値	年度別目標値	評価
98.4%	100%	順調



① 評価の理由

就職率が年々向上し、高い水準で推移しているため。

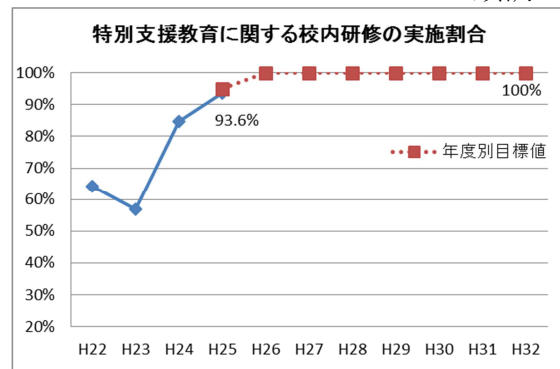
② 今後の取組

各学校間や関係機関との連携を密にして、実習の受け入れ職種の拡大等についての働きかけを進める。また、就労支援に関する教員のスキルアップを図っていく。

・ 指標 3

特別支援教育に関する校内研修を実施した学校の割合（公立幼、小・中・高等学校）」

現況値	年度別目標値	評価
93.6%	95.0%	おおむね順調



① 評価の理由

現況値がおおむね目標値を達成しており、震災以前の状況を大きく上回っているため。

② 今後の取組

各種研修会や学校訪問等において、校内研修実施のためのリーフレットを作成・活用するなどして、特別支援教育に関する研修を各学校園が工夫して実施できるようにする。